

第9回 FiaS Monthly Café のご案内

福岡市産学連携交流センター
入居者及び関係者の皆様

平素よりセンターの運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

さてこの度、FiaS 入居者の相互交流を一層促進するとともに、一般市民や地場企業等の出会いを促進する場として FiaS の活用促進をはかるべく公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を開催することとなりました。

第9回 FiaS Monthly Café の詳細は下記のとおりです。

記

イベント名：第9回 FiaS Monthly Café

主催：FiaS 交流促進ワーキンググループ

構成団体 福岡市、ISIT、OPACK、九州大学、西鉄ビルマネージマネージメント

日時：令和元年12月20日（金） 16時50分～17時30分

会場：FiaS 1号棟1F 交流ホール

話題提供者： 九州大学学術研究都市推進機構 研究主幹 吉田 敬介

話題： ノーベル工学賞はない（科学と技術と社会の関係とは？）

世の中に数ある褒章の中で、ノーベル賞だけ、なぜ大きな話題になるのでしょうか？ ダイナマイトで巨万の富を築いた人の遺産の中から大賞金が支払われる、ノーベル「平和賞」や「文学賞」は賛否が分かれ…、それはみんな知っているけど、では自然科学分野なら大丈夫なの？ 1979年のCTスキャンは「生理・医学」賞？ 今年のリチウムイオン電池は「化学」賞？ 受賞者である企業の「元社員」は科学者？ 技術者？ そもそもこれらは発見ではなく発明でしょう！ ノーベル賞とは全く無縁な、ものづくり技術研究者である大学教員がやっかみ半分に、科学と技術と社会の関係を考えます。



講演者の肖像写真



救難飛行艇 US-1



アロー号

参加資格：どなたでも参加できます。（無料）

飲食：持ち込み自由

管理室でホットコーヒー、お茶等はご用意いたしますが、お気に入りの飲み物（アルコールは×）
お菓子等は持ち込み自由です。

皆様のご参加をお待ちしております。

以上